

# 越中八尾おわら歌碑 《いにしへの文化人との交流》

北陸銀行前(11/26)



八尾八尾と

皆いきたがる

おわらよいとこ

オワラ唄の里

町田嘉章

町田嘉章（まちだよしあき）  
近世邦楽・日本民謡研究家、作曲家、  
音楽評論家。通称「かしよう」。明治  
二十一年、群馬県伊勢崎の商家に生ま  
れる。  
趣味の三味線に没頭し、その五線譜化  
を独習。芸能・邦楽担当記者のかたわ  
ら古曲保存会を設立、邦楽レコードの  
制作、民謡研究に着手。  
代表作に新民謡「ちゃつきり節」「正  
調民謡集」など。

ふらっと館前(12/26)



見たさ逢いたさ

思いがつのる

恋の八尾は オワラ雪の中

小川千甕

小川千甕（おがわせんよう）

～Vol.2に掲載～



※人物の説明は主にウイキペディアより抜粋



旅籠屋の

古看板に吹雪して

飛騨街道を

ゆくひとみなし

吉井 勇

吉井 勇 (よしいいさむ)  
日本の歌人、劇作家、小説家。  
元伯爵。宮中歌会始選者、日本芸術院会員。  
本名の読み仮名は「よしいいさみ」。明治十九年、東京芝区高輪の元伯爵家に生まれる。  
「いのち短し、戀(こひ)せよ、少女(をとめ)」の歌詞で知られる「ゴンドラの唄」の作詞者。戦時下の昭和二十年二月、京都の馬町空襲をきっかけに八尾町へ疎開し、当地で終戦を迎えている。

※旅館としての創業は明治四年。二百年以上前に蟬燭問屋として始まり、やがて生糸問屋になり、一帯に集まる商人を泊めるようになった。江戸時代後期から続く漆塗りの館内と大きな柱や梁は、旅館(はたご)の風格を今に伝えている。将軍・徳川慶喜公や作家・五木寛之氏、森村誠一氏が滞在した部屋が残っている。

